

- 問1 新井白石が行った政治改革の内容として、当時の社会背景や目的に合致する正しい説明はどれですか。(2019年 愛媛公立入試 類似)
1. 生類憐みの令を出して、極端な動物愛護による社会道徳の確立を目指した。
 2. 長崎貿易での金や銀の流出を防ぐため、海舶互市新例を出して貿易額を制限した。
 3. 印旛沼の干拓や下総の開墾を行い、年貢収入を増やすことで幕府財政の再建を図った。
 4. 昌平坂学問所を設立して、武士に朱子学以外の学問を禁じる「寛政異学の禁」を導入した。
- 問2 江戸時代初期に行われた朱印船貿易の仕組みについて、正しく説明しているものはどれか。(2022年 徳島公立入試 類似)
1. 幕府が発行した朱印状を携えた船が、東南アジアとの間で貿易を行った。
 2. 明の皇帝から与えられた符節を使い、倭寇と区別して貿易を行った。
 3. キリスト教の布教を伴い、ポルトガルやスペインの船が日本に渡来した。
 4. 薩摩藩の支配のもと、琉球王国を介して中国との間で行われた。
- 問3 1734年の鳥取藩の財政記録において、支出の大きな割合を占めている項目の一つに、江戸への往復や滞在に関わる経費があります。この経費が発生する要因となった、武家諸法度によって大名に義務付けられた制度の名称と仕組みとして正しいものはどれですか。(2019年 鳥取公立入試 類似)
1. 参勤交代：1年おきに江戸と領地を往復し、妻子は人質として江戸に住まわせる制度
 2. 門戸開放：江戸の商人に対し、地方の特産品を自由に売買することを許可する制度
 3. 慶安の御触書：農民に対し、日常生活を細かく制限して年貢を確実に納めさせる制度
 4. 公事方御定書：裁判の基準を定め、大名間の争いを幕府が公平に裁くための制度
- 問4 江戸時代の大阪は、日本海側を通る西まわり航路や、瀬戸内海の航路が集まる物流の結節点でした。この地理的条件を背景に、大阪が「天下の台所」と呼ばれるほど経済的に発展した理由として、最も適切な説明はどれですか。(2020年 滋賀公立入試 類似)
1. 全国の年貢米や特産物が集積され、市場を通じて全国の物産の価格を決定する役割を担ったから
 2. 将軍の膝元として幕府の政治機関が集中し、全国の武士が消費生活を送る最大の都市だったから
 3. 五街道の起点として陸上交通が最も発達し、各地の間屋が直接商品を運ぶ拠点となったから
 4. 株仲間による独占販売が禁止され、自由な貿易によって海外の産物が大量に流入したから
- 問5 1842年、江戸幕府はそれまでの対外政策を改め、日本の沿岸に接近した外国船に対して薪（燃料）や水、食料を与えて穏やかに立ち去らせる方針を決定しました。この時出された法令の名称として正しいものを選んでください。(2018年 鹿児島公立入試 類似)
1. 薪水給与令
 2. 異国船打払令
 3. 武家諸法度
 4. 日米和親条約
- 問6 1837年に大坂で起こった大塩平八郎の乱について、その背景や影響を説明したものととして最も適切な記述はどれですか。(2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 飢饉に苦しむ民衆を救うため、元奉行所の役人が幕府の政治を批判して蜂起し、各地の一揆に影響を与えた。
 2. キリスト教の禁教令に反対した農民たちが、九州地方を中心に大規模な一揆を起こし、幕府を震撼させた。
 3. 幕府の軍学者が、徳川幕府を倒して政治の実権を握ろうと江戸でクーデターを企てた。
 4. 蝦夷地の先住民族の指導者が、松前藩による不当な交易に対して武器を持って大規模な抵抗を行った。
- 問7 江戸時代中期、儒教や仏教といった外来の教えが普及する前の、日本古来の精神や文化を明らかにしようとする「国学」という学問が盛んになりました。この国学を大成させ、30年以上の歳月をかけて日本最古の歴史書を注釈した『古事記伝』を著した人物は誰ですか。(2024年 長野県公立入試 類似)
1. 本居宣長
 2. 松尾芭蕉
 3. 契沖
 4. 塙保己一
- 問8 江戸時代の長崎貿易において、国内各地の鉱山から集められた銅が主に輸出されていた相手国の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 清（中国）とオランダ
 2. イギリスとポルトガル
 3. 朝鮮と琉球
 4. ロシアとアメリカ
- 問9 戦国時代から江戸時代にかけて形成された城下町の構造について、大名の居城を起点とした防御や土地利用の仕組みを説明したものととして、最も適切なものはどれですか。(2017年 広島公立入試 類似)
1. 城の周囲に水や土砂を遮断する堀を巡らせて防御を固め、その外側に武士の居住地と町人の居住地を明確に分けて配置した。
 2. 敵の侵入をあらかじめ防ぐために城を町の外れに配置し、武士や商工業者が身分に関係なく混ざり合って住むようにした。
 3. 経済の活性化を優先するため、防御用の堀は作らず、城のすぐ隣に商工業者の店舗を集中させて交通の便を最大化した。
 4. 農村部との連携を強めるため、城の周囲を広大な田畑で囲み、武士を農村に住まわせて城下には町人のみを生かした。
- 問10 江戸時代の文化を描いた当時の絵巻資料には、劇場の舞台上に立つ華やかな衣装の役者と、それを熱心に見守る多くの町人の姿が描かれています。このような芸能が、幕府の厳しい統制を受けつつも発展した背景として最も適切な説明はどれですか。(2022年 愛知公立入試 類似)
1. 貨幣経済の浸透により経済力をつけた町人が、娯楽の主な担い手となったため
 2. 幕府が武士の教養を深めるための公的な儀式として、この芸能を奨励したため
 3. キリスト教の布教活動が制限される中で、代わりに布教手段として利用されたため
 4. 戦国時代の合戦の様子を正確に後世に伝えるための手段として重視されたため
- 問11 日本の歴史における時代区分を記した年表において、古代、中世に続く区分として位置づけられる名称は何ですか。織田信長・豊臣秀吉による統一事業から江戸時代までを含み、将軍と大名による支配が確立した時代を指します。(2015年 長野県公立入試 類似)
1. 中世
 2. 近世
 3. 近代
 4. 現代
- 問12 寛政の改革で実施された「旧里帰農令」の内容と、その背景にある当時の社会状況の説明として正しいものはどれか。(2016年 大阪公立入試 類似)
1. 天明の飢饉などで江戸へ流入していた農民に対し、資金を与えて村に帰ることを奨励し、農村の荒廃を防いで年貢収入の安定を図った。
 2. 参勤交代の負担を減らすために、江戸に住む武士たちを自分たちの領地へ強制的に帰し、地方の特産品開発を命じた。
 3. 都市部の人口を減らすために、職を失った町人を未開拓の蝦夷地（現在の北海道）へと移住させ、警備と開墾を行わせた。
 4. 外国船の来航に備えるため、沿岸部の住民を内陸へ移住させ、軍事訓練を強化して海岸線の守りを固めようとした。
- 問13 イギリスで1689年に制定された「権利の章典」は、その後の政治の仕組みにどのような影響を与えましたか。制度の仕組みとして最も適切な説明を選びなさい。(2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 国王も議会在が定めた法に従わなければならないという「立憲君主制」の基礎となった。
 2. 国王を完全に廃止し、国民から選ばれた代表が政治を行う「共和制」を永続させた。
 3. 本国イギリスから独立し、大統領を国家元首とする「連邦制」を確立した。
 4. 皇帝が全権を握り、周辺諸国を軍事力で支配する「絶対王政」をさらに強化した。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 長崎貿易での金や銀の流出を防ぐため、海舶互市新例を出して貿易額を制限した。	正徳の治では、国内の金・銀の産出量が減少していたことを重く受け止め、長崎貿易における貴金属の流出を抑えるための「海舶互市新例（正徳新例）」が制定されました。これにより、貿易船の数や貿易額に上限が設けられました。なお、生類憐みの令は徳川綱吉、印旛堀の干拓は田沼意次や水野忠邦、昌平坂学問所の強化は松平定信による政策であり、新井白石の政策とは異なります。
問2	答え 1 幕府が発行した朱印状を携えた船が、東南アジアとの間で貿易を行った。	徳川家康は海外貿易を奨励し、渡航の安全を保证するために「朱印状」を与えた商船に限って貿易を認めました。選択肢にある明との勘合貿易や、キリスト教布教を伴った南蛮貿易とは、時代背景や貿易を管理する主体の仕組みが異なります。
問3	答え 1 参勤交代：1年おきに江戸と領地を往復し、妻子は人質として江戸に住まわせる制度	資料にあるような藩の財政を圧迫した主な要因は、参勤交代に伴う経費です。この制度は徳川家光によって確立され、大名が江戸と自領を1年ごとに交代で居住することや、4月に江戸へ参勤することなどが定められました。また、大名の妻子は「人質」として常に江戸に居住することが義務付けられており、これによって幕府は大名への統制を強めました。
問4	答え 1 全国の年貢米や特産物が集積され、市場を通じて全国の物資の価格を決定する役割を担ったから	大阪は海運網の拠点であり、全国から蔵屋敷へ年貢米や特産物が集まりました。特に堂島の米市場は、日本全体の米価の基準となるほどの影響力を持っていました。このように全国の物資が集中し、流通の中心となったことから「天下の台所」と称されました。なお、政治の中心である「将軍の膝元」は江戸を指します。
問5	答え 1 薪水給与令	江戸幕府は1825年に「異国船打払令」を出し、日本に近づく外国船を無差別に攻撃して追い払うという強硬な姿勢をとっていました。しかし、1840年に始まったアヘン戦争で清がイギリスに敗れたことを知ると、幕府は欧米列強との武力衝突を避けるために方針を転換し、遭難した船などに燃料や水、食料を供給して帰還させる「薪水給与令」を1842年に発令しました。
問6	答え 1 飢饉に苦しむ民衆を救うため、元奉行所の役人が幕府の政治を批判して蜂起し、各地の一揆に影響を与えた。	大塩平八郎は陽明学の教えに基づき、知行合一（知識と行動は一体であるべきという考え）を実践しました。反乱自体は短期間で鎮圧されましたが、幕府の膝元である大坂で元役人が反乱を起こしたことは、幕府の権威を大きく失墜させ、その後の幕政改革や各地の民衆運動に強い影響を及ぼしました。
問7	答え 1 本居宣長	江戸時代には、中国伝来の儒教やインド伝来の仏教などが日本人に与えた影響を排し、日本独自の思想を探求する「国学」が発展しました。本居宣長は伊勢国（三重県）の医師でありながら、文献学的な手法を用いて『古事記』を研究し、日本固有の「道」を明らかにしようとした。これが幕末の尊王攘夷運動などの思想的背景にもつながっていきます。
問8	答え 1 清（中国）とオランダ	幕府が制限した「鎖国」体制下の長崎では、出島でのオランダ貿易と、唐人屋敷を介した清（中国）との貿易が行われていました。これらの国々から輸入する生糸や薬種などの代金支払いのために、日本の銅は欠かせない輸出資源となっていました。
問9	答え 1 城の周囲に水や土砂を遮断する堀を巡らせて防御を固め、その外側に武士の居住地と町人の居住地を明確に分けて配置した。	城下町は軍事拠点としての役割を持っていました。大名の居城を守るために堀や石垣といった防御設備が整えられ、その周囲に家臣である武士を住まわせる「武家地」を配置して守りを固めました。さらにその外側や街道沿いに「町人地（商工業者の居住地）」を設けることで、身分に応じた明確な居住区分の管理と、都市としての機能の両立を図っていました。
問10	答え 1 貨幣経済の浸透により経済力をつけた町人が、娯楽の主な担い手となったため	江戸時代中期以降、商業の発展にともない町人が経済的な力を蓄えました。彼らは自分たちの生活や価値観を反映した娯楽を求め、その代表格が歌舞伎や浮世絵でした。幕府は奢侈（贅沢）を禁止するためにしばしば歌舞伎を制限しましたが、町人たちの強い支持によって文化として定着し、発展し続けました。
問1	答え 2 近世	日本の歴史区分では、武家政権が盤石となり、幕府と藩が土地と人民を支配する体制が整った時期を「近世」と呼びます。一般的に、室町時代の後の安土桃山時代から江戸時代までを指す言葉として使われます。
問1	答え 1 天明の飢饉などで江戸へ流入していた農民に対し、資金を与えて村に帰ることを奨励し、農村の荒廃を防いで年貢収入の安定を図った。	当時は飢饉や農村の疲弊により、職を求めて都市（江戸）に流れ込む農民が急増していました。松平定信は、労働力を農村に戻すことで農業を再建し、幕府の財政基盤である年貢を確保しようとした。強制ではなく「奨励」であった点が、のちの天保の改革における人返しの法との違いです。
問1	答え 1 国王も議会在定めた法に従わなければならないという「立憲君主制」の基礎となった。	権利の章典によって、国王の権限は法律（議会）の制約を受けることになりました。これにより、国王は象徴的な地位にとどまり、実際の政治は議会が中心となって行う「国王は君臨すれども統治せず」という立憲君主制の原則が形作られました。なお、国王を処刑して共和制を一時的に敷いたのは清教徒革命（ピューリタン革命）ですが、名誉革命では再び王政が維持されたまま議会の優位が確立された点が異なります。